

群青かわら版

発行所：東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
学友会室
群青編集委員会
(C)群青編集委員会
2004



～パンフレット編～

知っている人も多いと思いますが、電通大には浜見寮という合宿用の施設があります。浜見寮は湘南海岸の近くにあり、電通大のサークルや委員会がよく利用しています。かくいう自分もこの前の八、九日と群青委員の合宿(?)の為に使いました。使ってみた感想はまあ普通。少なくとも不便ではありませんでした。

で、実はこの寮、パンフレットが存在します。後日先輩達と浜見寮に関して話したところ

『このパンフレットには突っ込みどころがいくつかある』

との噂が。早速調べてみることに。

ちなみにパンフレットのあるHPのアドレスは

<http://www.uec.ac.jp/campus/hanamiyou/hanamiyou.html>

大学のHPから飛べます。また教務課の方でも貰えるようです。

さて、先に言っておきます。『ここから先に書かれてある文章はパンフレットに忠実です。』

まずはパンフレットのある浜見寮トップページ。そこにはこう書いてありました。

一年を通して、ヨット、サーフィン、遊泳、観光と人の絶えることがない、湘南海岸。浜見寮は本学生、職員、課外活動、レクリエーションなどの利用を目的とした施設で、藤沢市の海浜に位置しています。一応突っ込む所はありません。

湘南海岸にあるのは確かだし海にも歩いて八分くらいで行けます。近くに海浜公園、江の島、鎌倉などがあり、公園、名所、旧跡にも恵まれています。

ん？ちょっと待て、近くにそんなもんあったか？まあ、私は浜見寮に行ったときにほとんど外に出なかつたので、周りに何があるのか知りません。調べてみると、浜見寮の最寄りである駅、鶴沼海岸から電車を使つて江ノ島へは二分、鎌倉へは三七分と出ました。ちなみに電通大から鶴沼海岸駅へのアクセスの一例としては、調布駅より京王線で京王永山駅まで行き、そこから小田急線へ乗り換えて小田急永山 新百合ヶ丘 鶴沼海岸と行くルートがあります。この場合片道六八〇円になります。

気を取り直してパンフレットの続きを見てみます。まず目に入ったのが、

「波の音、聴きに来ませんか？」の文字。

……いや、浜見寮からでは波の音は聞こえないですけど。それはそうと何で大学の施設なのにパンフが商業用っぽく始まっているんですか？確かにここ利用するにはお金が必要ですけど、その料金は微々たるものの上、来るのは電通大関係者のみです。まあ、そうとはいえ宿泊施設のパンフだからそれっぽく始めてみたかったといえればそれまでですが。

その文字の次には建物平面図、収容数、設備環境等が記載。とりあえず突っ込みどころは特に無いです。次のページに行く和使用条件および心得が書いてあります。浜見寮を使えるのはやっぱり電通大関係者のみようです。それから申し込み方法、利用時間(夕食とか風呂、門限の時間)と続きます。ふーんとか言つて読み流して次の項目へ。ここで「ん？」とききました

休業日

……あるんだ。まあいいけど、どれどれ

火曜日・水曜日

よかった、土日は使えるようです。次は

国民の祝日

まてい！休みの日に開いてなくてどーすんの！そーいえば、先輩達が何で合宿の日にちをゴールデンウィークを避けてわざわざ普通の土日を選んだのか疑問でしたが、ひよっとしてこれが原因でしょうか？

閑話休題、その次に書いてあったのが使用上の心得。まあこれも一般的です。注意するとしたら『旅館ほかからって洗面用具は置いてないから自分で持ってくる』と云ったところでしょうか？さて、これでこのページは終わり……と思いきやなんかページの一番下に書いてありました。

「今年の夏はEVAアワード」

「……EVAアワード」

ちよっとマテヤこらー！誰だこんなもん入れたの！実を言うとこのパンフレット、この大学に留学生が結構いることを考慮に入れているのか全文日本語の横に英語訳があるので、この文も英語にされています。そして英語文見て二度びっくり。うわっ！このさびいギャグ英文でも通じてる！ひよっとしてこれが本場のアメリカンジョークなのでしょいか？（多分違う）

最後が周辺マップ。以上でパンフレット終了。感想は……いや、最後のギャグで何思っていたのかかなり吹っ飛びましたがまあ先輩の言っていた『突っ込みどころがいくつかある』というのには本当でしたと云ったところか。（というか最後のギャグを考え付いた人にぜひとも会いたい）

謎に包まれた（？）浜見寮。せつかくあるのですからパンフレットの要項に従って皆さん利用してみたいかがでしょうか？

甘味料の実態

皆さんは食品添加物というものが、どういうものか具体的に知っていますか？なんだか体に悪そうだな程度にしか思わない人もいれば、かなり体に悪いと思っている人もいるんじゃないでしょうか。また、一人暮らしを始めたばかりの一年生などは、自分で食品を全て管理しなければならぬので気にしている人も多いのではないのでしょうか。今回は添加物の中でも皆さんが結構口にする菓子や飲料に含まれる、甘味料について書きたいと思います。

サッカリン

これはかなり有名な物質ですが、この物質の名前を初めて聞いた人はなんて危険そうな名前だと思っかもしれません。この物質の最初と最後の方の文字を使った物質が有名な劇物だからです。しかしそんな理由で危険と思われるはあまりにも理不尽なので、汚名を晴らすべく実際はどうなのか検証していきます。

この物質は一九〇〇年ぐらいから

使い始められ、また日本では戦時中に砂糖がなくなってしまうたときの代用品として使われていたので、皆さんの両親または祖父母が知っていると思います。砂糖の三〇〇倍の甘味があり結構使われていたらしいのですが、一九六〇年代に発がん性を疑われて、ガムぐらいにしか使ってはいけないことになりました。実際には問題となっていた発がん性が無いことがだいたい前に認められましたが、保守派がいろいろ頑張っているせいで現在でも日本では使用基準が厳しくされています。

しかしそれで困っている人もいたりします。例えば糖尿病の人などは糖を摂取するわけにはいけないため、甘いものは甘味料に頼るしかないらしいのです。

次は今カロリーゼロと名がつくものにはほとんど入っているアスパルテムについて説明をしたいと思えます。

アスパルテム

この物質は現在発売されている清涼飲料水やガムなどによく含まれている物質です。発見されたのは一九

六五年で結構昔です。甘味は砂糖の二〇〇倍でカロリーは二〇〇分の一、さらに、それを構成する物質は人体にとって必要な物質であり、害はありません。

では批判がないかといえば実はあつたりしたらしいのですが、危険だと判断された実験が素人の私から見てもかなり駄目な実験であつたりしました。ラットの体重一キログラムあたりに一グラムものアスパルテムを毎日与えたり妊娠中のマウス一キログラムあたりに四・四グラムを毎日与えたりする実験なんです。その結果ヒト推定致死量は二〇〇〜三〇〇グラムと言われています。

どう考えても体重五〇キログラムに対しアスパルテムを五〇グラム、というのはまだしも二〇〇グラムは多すぎるとは思うのですが、なんとどうかどう考えてもそんなに食べないですし、しかも毎日というのは人間に置き換えて考えるとかなり不自然な気がします。限度と言つものはどんな物質にもあつて、摂りすぎると危険であることは大体の人は分かっているので(分らないと今年のUEC-Timesのように)いく

ら何でもそこまで摂取しようとする人は皆無のはずです。それにも関わらずこんなことをしているのを見ると、研究というも適当にやっているんじゃないかと思えてしまいます。

他にもフェニルアラニンを含んでいるためフェニルケトン尿症と言う病気の人は摂取してはいけないと言われていますが、八万人に一人の割合ですし生まれたときにすぐ分かるらしいので、結局のところ心配には値しないと言つていいです。さらにいえば、体内で分解されたときにメチルになるんだそうですが、これも要は摂り過ぎなきゃいいつてことですよ。

なんか二つの物質についてしか書いてませんが、これらがたぶん一番有名なのではないかと思えます。また、食品添加物についている議論があつたのもうだいたい前からですが、今もほとんど新しい食品添加物が作られていて、それが食品に使われています。もうそれがないと暮らしていけない世の中であるのも事実だったりしますが、どんな物もありあえず摂り過ぎはよくないので、例えばコーヒーの飲み過ぎ等には気をつけましょう。

新委員長のお言葉

コーヒーに溺れ、自分の鬱チエックの結果にさらに鬱になり、電波ソングでテンションを無理やり上げ、赤ペンを滑らせキーボードを叩き続けた編集作業。あれから一ヶ月もしないうちに桜は咲き、新入生を迎える季節となつてしまいました。さてこのような駄文を読んでいただいている皆様のお手元に、我々の単位と健康努力と情熱の結晶である「UEC Times 2004」をお届けできましたでしょうか。

今年度の委員長になりました二年情報通信工学科の岩城です。まあ委員長と申しましても結局のところは威張れるような役職でもなく、要はパーティが全滅(原稿を落と)した時に王様(我々の出資者である学友会員様)に頭を下げる役職ですの

で、まずは他の委員と協力して目の前の仕事を着実にこなしていけるようにしていきたいなと考えています。

今年の群青編集委員会は実行部隊が四名、一年生が十人強という比較

的恵まれたパーティ構成でのスタートとなりました。去年は一年生の半減期が一週間という素敵な状況だっただけに、このまま激減することなく冬の編集作業まで付き合つてほしいものです。そして毎年何だかんだ言つても必ず一人は来てくれた新入女子学生さんが今年は最初の時点でゼロ。どうするんですか只でさえうちの委員会女の子受け全くしないのに、これから氷河期突入なんです。勘弁してくださいよいくら少ない少ない言っている電通大でさえ一応全体では約一割いるんですよ? ゼロに何をかけてもゼロはゼロじゃないですか。と言つわけで、今年は何年になく暑苦しくむさ苦しく漢臭い群青編集委員会が皆様の下へ新刊をお届けできるかと思えます。どうぞお楽しみに。

今年度は自虐もそこそこ(と言いましてもこの文章を見る限りでは少し無理があるような気がします)方向を模索していこうかと考えています。まだまだ駆け出しで未熟な面もありますが、どうぞ新体制となつた群青編集委員会を一年間よろしくお願い致します。

旧委員長の迷言

気づいたらあみだくじで委員長に

させられて、はや一年。前年度委員長
長の中山です。私の任期中はなぜか
事件に事欠かなくて(二〇二〇万円
盗られたり、金庫がぶっ壊された
り、総会が祭りになったり……)あ
まり発行する予定のなかった瓦版が
前期の間に三回発行され、後期は力
尽きて瓦版を一回も発行することな
く春を迎えてしまいました。しかし
その結果、記事のネタが蓄積され
皆さんご覧になったでしょうが
今年度のUEC-Timesはこれまで
のものに比べて、非常にヤバイとい
うお墨付きを上から頂きました。
UEC-Timesのアレゲ度に比例して、
群青編集委員会にアレゲな新委員が
入ってくるということが、過去の統
計データ(自分を含む 私の時は2
ちゃんねるネタの嵐だった)から分
かっています。……在学生が新委員
のアレゲさに引くってどういふこと
なんだろうね。
さて、相転移という現象がある。
系の状態がある条件を境に、状態が

ガラツと変わってしまうことを意味
している。例えば水は0度で氷に相
転移する。水と氷の中間状態とい
ものを経ずして氷になる。

群青編集委員会でも同様のことが
起こったのではないかと推測する。
十数年前は群青といえ、呑みの群
青と呼ばれるくらいに、毎日飲んで
いたらしい。しかしベクトルが少
ずつ変わり始め、面白い記事を書く
委員会へと変化した。この変化は非
常に緩やかなものだったらしい。し
かし、UEC-Timesで書かれるアレゲ
なネタが一定量を超えたとき、相転
移が起こり、群青編集委員会の内部
組織がガラツと変わってしまった。
いわゆる自己組織化という奴であ
る。簡単なモデルを作ろう。新入生
を物質A、UEC-Timesを触媒、群青
委員を物質Bとすると、

・物質Bはエネルギーを消費し触
媒を生成する。
・触媒は物質Aに作用して、物質
Bに変化させる。
(エネルギー、コピー、電波ソ
ング、ガスガン、ジャンクフード
, etc)

この反応は指数関数的であること
が容易に理解できる。何故なら触媒
と物質Bがお互いがお互いを増やす
からだ。ここでモデルを現実世界に
戻すと、物質Bの量というものは、
新委員の量ということになってしま
う。新委員の量は有限なので、新委
員の質とする。また触媒の量はUEC-
Timesの量となってしまう。UEC-
Timesは有限ページ数なので、UEC-
Timesの質とする。すると群青編集
委員の質と、UEC-Timesの質は指数
関数的に上昇するということであ
る。この際、質とは何か、相転移点
はどこか、ということとは置いておく
こととして。

UEC-Timesを例に出したが、この
ような事象はよく起こる。例えば甲
子園に初出場した高校があったとす
る。この高校は翌年、倍率が非常に
高くなる。その結果野球が上手な生
徒が沢山入学し、その結果その次も
甲子園に行ける確率は高くなる(物
質A=新入生、物質B=野球部の力
触媒=甲子園)。何気ない現象で
も自己組織化が起こっていることが
しばしばある。その可能性を考えて

事象を見つめるのも面白い。そして
その目で自分自身のやったことを見
つめることもまた……。

水が氷になる相転移は可逆反応で
あるから、氷が水になることを期待
して次の委員長に高品質の物質Bを
残したまま座を譲りたいと思いま
す。

編集後記

なんとか朝という時間帯がやって
くる前に初めての編集作業を終わら
せる事が出来ました。「命大事に」の
作戦を使用しているのに、呪文が
「ザメハ」しかないってのはどうい
うことですか? いい加減回復呪文覚
えたい……。

新入委員はまだまだ募集中です。
なりたいたいなどか思った方は火曜日
生協四階の会議室へ来て頂ければ歓
迎いたします。委員長いわく、特に
女子に来てほしいとか……。俺として
は回復魔法所持者に来てほしい……。